

株式会社 オートバックスセブン

2012年3月期 決算説明会



代表取締役 社長執行役員

湧田 節夫

2012年5月11日

本日の内容(お伝えしたいこと)

I 2012年3月期 連結業績

激しい事業環境の変化に対応しつつ、計画を達成

II 中期経営計画の進捗

前半2年がほぼ計画通りの進捗、目標に向けた準備が完了

III 2013年3月期 連結業績予想と中計の施策

2013年3月期:中計の達成に向けて結果を出していく

I 2012年3月期 連結業績

2012年3月期 連結損益計算書

増収増益

震災等大きく変化する事業環境に対応しつつ、中計施策を現場に落としたものを着実に実施することにより、計画を達成

(億円)

	2012年3月期				2011年3月期 実績
	直近予想	実績	前年比	直近予想比	
連結売上高	2,338	2,373	+0.4%	+1.5%	2,364
売上総利益	755	770	+1.7%	+2.0%	757
販管費	627	633	▲0.7%	+1.0%	638
営業利益	128	137	+14.5%	+7.2%	120
経常利益	147	153	+17.2%	+4.1%	131
当期純利益	83	84	+36.0%	+1.2%	62
EPS(円)	254.3	252.9	+42.1%	▲0.6%	178.0
ROE	5.0%	5.7%	+1.6pt	+0.7pt	4.1%

四捨五入表示
対売上比・前年比・計画比は百万円単位で計算

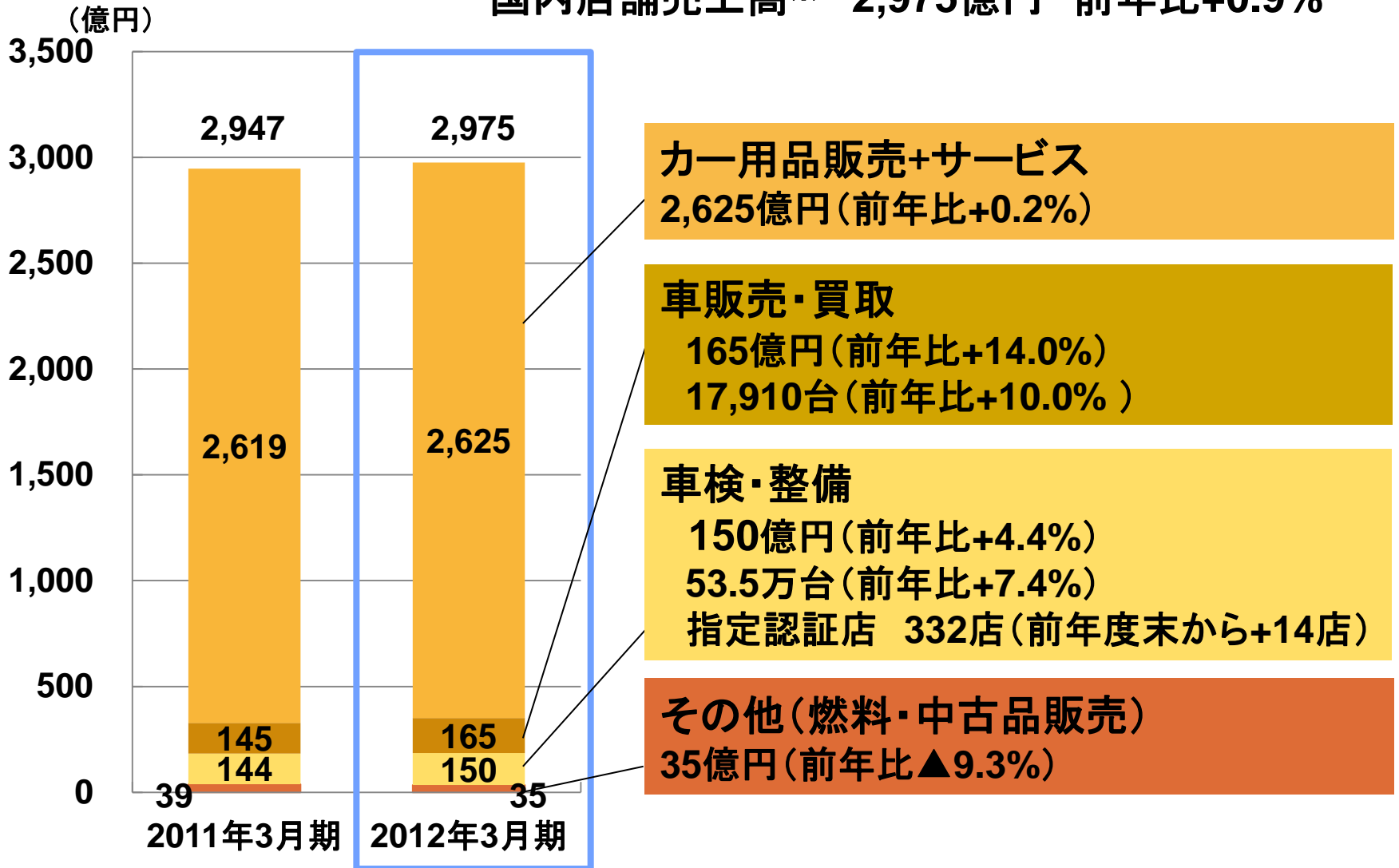
2012年3月期の事業環境 振り返り

項目	上期	下期
災害・震災	<ul style="list-style-type: none"> ・2店舗営業停止(8月まで) ・自動車販売減少に伴うカー用品需要の低下 ・ナビゲーション調達不足 ・企業の工場操業日の変更 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車生産の回復に伴うカー用品の需要増 ・タイ洪水によるカーエレの調達不足
	<ul style="list-style-type: none"> ・東北地方でのカー用品需要の増加(東北3県で約20%増) 	
タイヤ関連	<ul style="list-style-type: none"> ・値上げに伴う駆け込み需要 ・スタッドレスタイヤ不足懸念による需要増 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年より多い降雪量 ・前年に比べて関東地方は少ない降雪量によるタイヤチェーン需要減
その他政策による影響等	<ul style="list-style-type: none"> ・地デジ放送移行に伴う車載用チューナー、ナビゲーション需要増 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコカー補助金制度の復活に伴うカー用品の需要増

2012年3月期 国内店舗売上高(全業態)



国内店舗売上高※ 2,975億円 前年比+0.9%

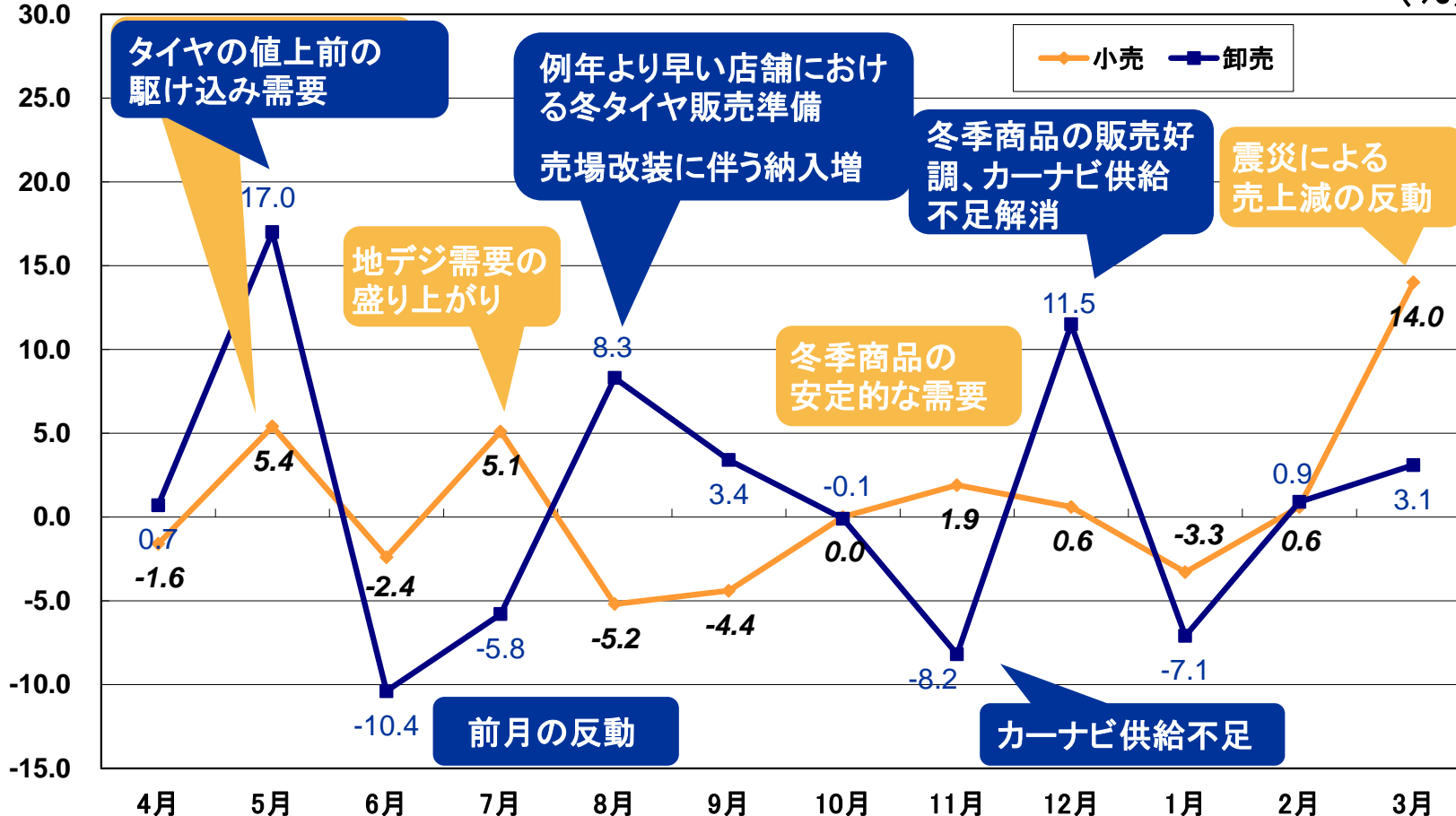


※対象:国内全業態の売上高

小売売上と卸売売上の月次トレンド

小売売上・卸売売上 前年比の推移

(%)

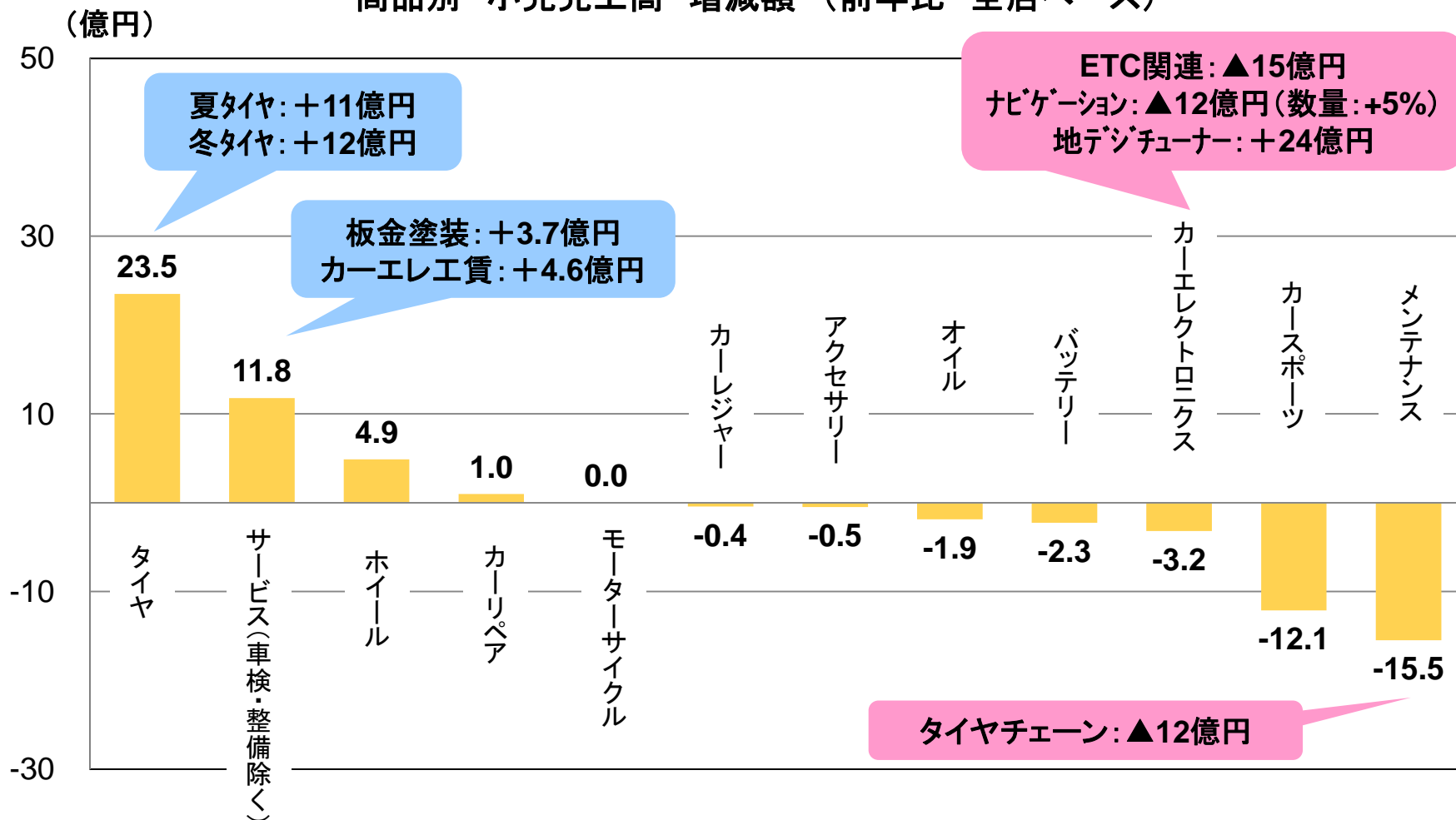


対象: ※FC店舗を含む 国内全業態

(オートボックス、スーパーオートボックス、オートハローズ、カーズ、セコハン市場、エクスプレス)

国内カー用品 商品別 売上増減額

商品別 小売売上高*増減額 (前年比 全店ベース)



* 国内全業態(オートバックス、スーパーオートバックス、オートハローズ、カーズ、セコハン市場、エクスプレス)における売上高

海外子会社の状況

海外子会社のある国別の状況

	フランス		中国		シンガポール		タイ	
期末店舗数 (FC店含む)	11		4		3		4	
既存店 売上前年比 (FC店含む)	+2.1%		▲3.0%		+5.1%		▲3.6%	
期間	12/3 通期	11/3通期	12/3 通期	11/3通期	12/3 通期	11/3通期	12/3 通期	11/3通期
売上高 (億円)	70.3	68.1	4.1	3.9	11.4	10.8	5.1	5.3
販管費 (億円)	32.9	34.2	2.9	2.3	3.6	3.3	1.4	1.6
営業利益 (億円)	0.2	▲1.8	▲0.7	▲0.7	1.3	1.3	▲0.0	▲0.1
2012年3月期の 状況	全体的にはタイヤやオーディオ類を中心とした販促の実施により売上と利益が伸長。夏以降は、天候と経済の影響を受けて一部の売上は伸び悩んだ		直営1号店にて認知度が徐々に向上。直営2店舗ではサービス、カー用品共に課題が残る。現地FC法人向けの卸売や日本向けの輸出は好調。		下期は景況感の減速があったものの、全体的に販促施策も奏功して順調。サービス売上の強化などにより利益も増加。		政情不安、洪水などが既存店売上に影響を与える。経費の節減などにより利益水準は前年並みに	

2012年3月期 連結営業利益の分析

国内小売売上		全店+0.9%/既存店+0.1%	
		営業利益	前年比
セグメント	単体	135.9億円	+18.4億円 【要因】 売上高 +8.9億円(+0.5%) 粗利額 +11.2億円(粗利率:21.3%←前年20.9%) タイヤ、カーエレクトロニクスなど粗利額の改善 販管費 ▲7.2億円 震災後の販促の自粛など含め経費を削減
	店舗子会社	4.3億円	+0.5億円 (売上高+0.6%)
	海外子会社	0.9億円	+2.1億円
	事業・機能子会社	5.4億円	▲1.8億円
単純合算		146.5億円	+19.3億円
連結調整		▲9.3億円	調整額 ▲1.9億円 ①単体から店舗子会社に販売した商品に関わる未実現利益が新規出店の増加に伴って増加したこと ②昨年度までは単体の営業外収益だったクレジット手数料収入が業務移管により機能子会社にて売上計上された ③店舗譲渡予定の子会社店舗の商品評価損の増加
連結		137.2億円	+17.3億円

2012年3月期 連結損益計算書 前年比増減要因

(億円)

	2012年3月期			2011年 3月期 実績 (売上比)
	実績 (売上比)	前年比	主な要因	
連結売上高	2,373	+0.4%	単体 +9億円 国内店舗子会社 +5億円 海外子会社 +3億円 } 連結調整前の数値	2,364
売上総利益	770 32.5%	+1.7%	卸売+10億円、小売+1億円 ・タイヤ・ホイールの売上増に伴う粗利額の増加 ・カーエレクトロニクスの粗利率の上昇 ・什器備品売上の増加に伴う増加	757 32.0%
販管費	633 26.7%	▲0.7%	人件費: インセンティブなど従業員給与の増加 販売費: 震災の影響による自粛によるマイナス、出店に伴う増加 その他: 弁護士費用、コンサルティング料、震災寄付金などの減少	638 26.9%
営業外収支	16 0.7%	+48.2%	営業外収益: 受取手数料の減少 営業外費用: 為替差損の減少	11 0.5%
特別利益	0.6 0.03%	▲94.2%	関係会社株式売却益 0.6億円	11 0.5%
特別損失	1.6 0.1%	▲94.2%	固定資産減損、固定資産売却損、店舗整理損: 1.6億円	27 1.1%
法人税等調整額	▲1.2	—	税率の変更に伴う繰延税金資産の取り崩しにより当期利益に▲5.1億円の影響	9

四捨五入表示 対売上比・前年比・計画比は百万円単位で計算

出退店の実績



国内出退店実績

	11/3 末	2012年3月期						12/3 末
		上期			下期			
		新店	S/B R/L	退店	新店	S/B R/L	退店	
オートバックス(AB)	404	+6	+5/▲3		+17	+3/▲1	▲1	430
スーパーオートバックス(SA)	76							76
オートハローズ(AH)	5		▲4					1
セコハン市場(SH)	21					+2/▲2	▲3	18
オートバックス・エクスプレス	7			▲2				5
国内計	513	+6	+5/▲7	▲2	+17	+5/▲3	▲4	530

海外出退店実績

S/B=スクラップ & ビルト、R/L=リロケーション

	2011/3末	2012年3月期		2012/3末
		上期	下期	
フランス	11			11
中国	4	+1/▲1		4
台湾	4	+1		5
タイ	4			4
シンガポール	2		+1	3
海外計	25	+2/▲1	+1	27

Ⅱ 中期経営計画の進捗

経営目標

営業利益 160億円

ROE 7%

DOE* 3%

1. 国内事業

① 店舗収益力の改善

AB業態店舗の営業利益率 6.9%

既存店改革(売場改革)

粗利改革(仕入改革)

人材とオペレーション改革

② 市場シェアの向上

アフター市場シェア 18%

新規出店

サービス業態・マルチチャネル開発

2. 海外事業

海外事業の黒字化、アジア事業の検証と検討

3. 財務戦略

投資によるキャッシュフロー創出と株主還元の強化

1 - ①. 店舗収益力の改善

2012年3月期

オートバックス業態の営業利益率 6.0%※ (前年度5.7%)

既存店改革(売場改装)

オートバックス業態 217店舗実施(計画通り)

改装済店舗と未改装店舗の実績

	改装済	未改装	差
売上前年比	101.7%	97.9%	+3.8%
客数前年比	100.0%	96.9%	+3.1%

粗利改革(仕入改革)

単体卸売粗利率: 20.2%⇒20.8%に改善

人材とオペレーション改革

接遇研修 約8,800名受講

覆面調査の継続実施

※暫定の数値

タイヤ

主要メーカーごとに売上構成比などの目標を掲げ、粗利額を改善

カーエレクトロニクス

- ・特価商材の価格等の見直し、定番商品の販売強化
- ・メーカー各社との年間契約の見直しによる粗利率の改善

オイル、バッテリー、アクセサリー、カースポーツなど

- ・売場改革により中央 Gondola 商品の卸売粗利率が改善
- ・店舗粗利は、旧商品の売り切りのため改善に至らず
- ・PB オイルの販売比率低下により粗利減

1 - ② 市場シェアの向上

2012年3月期

オートバックスチェーンの市場シェア 約15%※（前年横ばい）

新規出店

新規出店店舗数 23店舗（純増17店舗）

新店の売上予算達成率 105.4%

店舗ランニングコスト削減 目標1,200万円に対して約7割に目途

- ・隙間型店舗は、計画に対して遅れがあるため、検証中
- ・ランニングコスト： 店内什器の（従来比▲3割）
ピット機材（従来比▲1割強）など、

サービス業態・マルチチャネル開発

板金集中センターの開設（2012年4月）

ネット販売サイトのリニューアル、売上の増加

※当社推定数値

2012年3月期の新規出店店舗

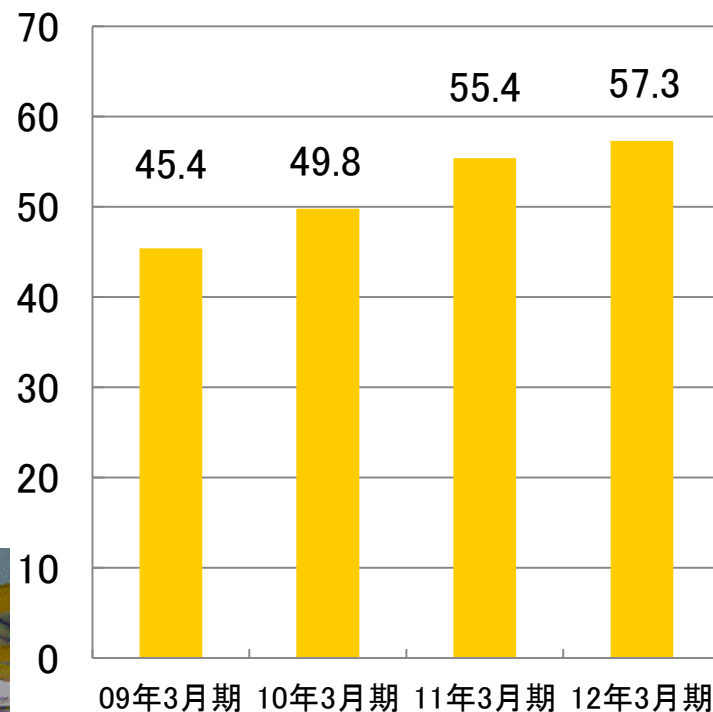


店舗名	オープン日
1 オートバックス松山保免店	2011年4月21日
2 オートバックス十日町店	2011年4月22日
3 オートバックス・鶴岡	2011年8月11日
4 オートバックス杭全店	2011年8月12日
5 オートバックス岩見沢店	2011年9月23日
6 オートバックス網走	2011年9月30日
7 オートバックス・富谷店	2011年10月6日
8 オートバックス宮の森店	2011年10月7日
9 オートバックス・日田店	2011年10月21日
10 オートバックス・千里丘店	2011年10月28日
11 オートバックス豊川店	2011年11月3日
12 オートバックス千葉ニュータウン	2011年11月3日
13 オートバックス・熊本植木店	2011年11月17日
14 オートバックス茨木西店	2011年11月18日
15 オートバックス川崎さいわい	2011年11月23日
16 オートバックス長久手	2012年1月19日
17 オートバックスタイヤ専門館小郡店	2012年2月16日
18 オートバックス・阿南店	2012年3月15日
19 オートバックス・南アルプス	2012年3月16日
20 オートバックス・佐倉店	2012年3月16日
21 オートバックス箕面店	2012年3月20日
22 オートバックス五泉店	2012年3月30日
23 オートバックス・田村船引	2012年3月30日

板金・塗装の拡大に向けた取り組み

- ・板金・塗装 全店受け入れ体制が完了
 軽板金の受付・見積システム
 (オートバックスイックリペア)の導入
 - ・板金集中センターの開設(浦安地区)
 事故板金の周辺店舗からの受け入れ
 板金技術、フロント業務のノウハウの習得
- ⇒ 浦安地区にて実績のある(株)ヤナカ
 を買収

板金・塗装実施台数の推移
 (千台) (オートバックスグループ全店舗)



2. 海外事業

2012年3月期の実績

海外子会社 営業利益合計が黒字に転換

フランス法人 継続的な経営努力により営業黒字化

中国 上海にて、2店舗目出店。

サービス売上は好調、カー用品販売には課題が残る
シンガポールにて3店舗目出店、売上好調



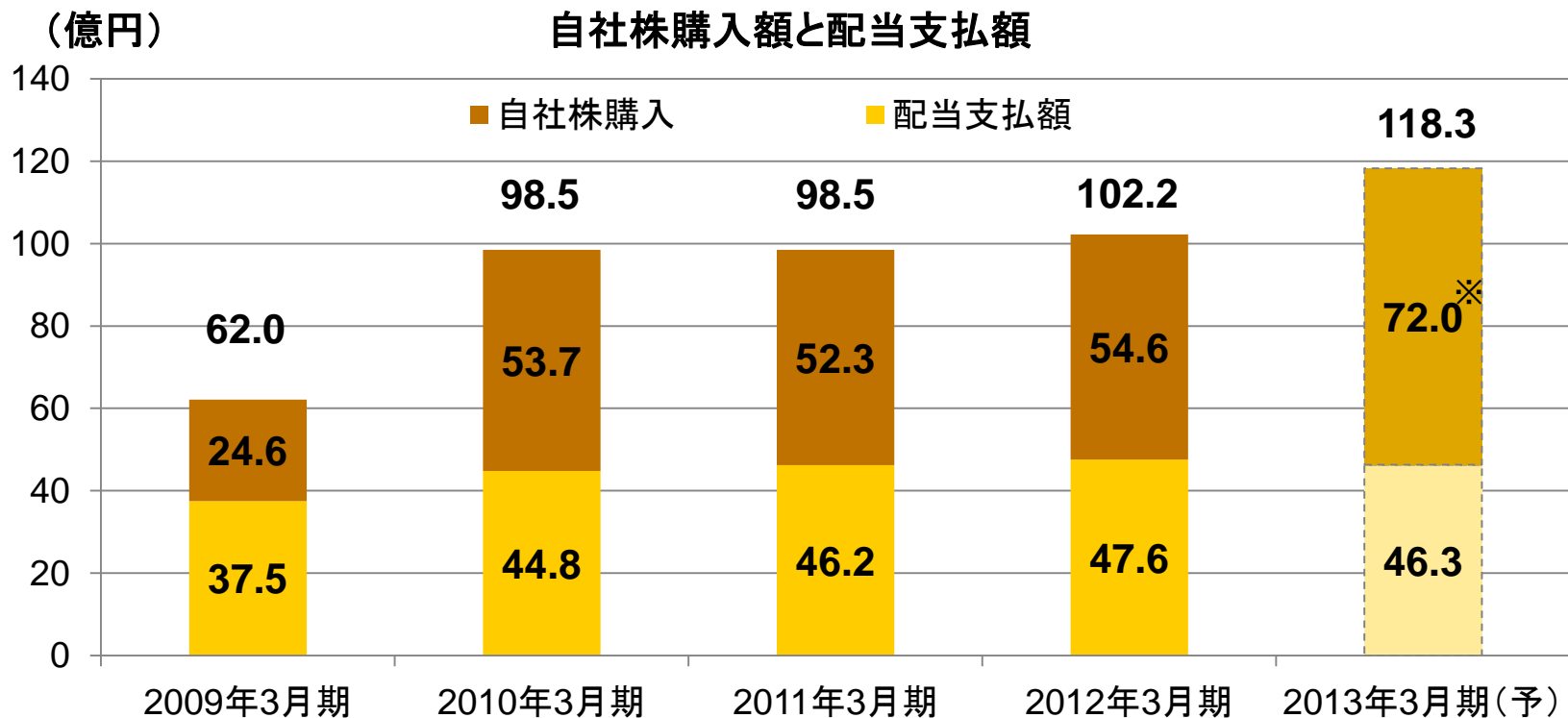
上海曹安公路店(直営2号店)



上海曹安公路店の洗車レーン



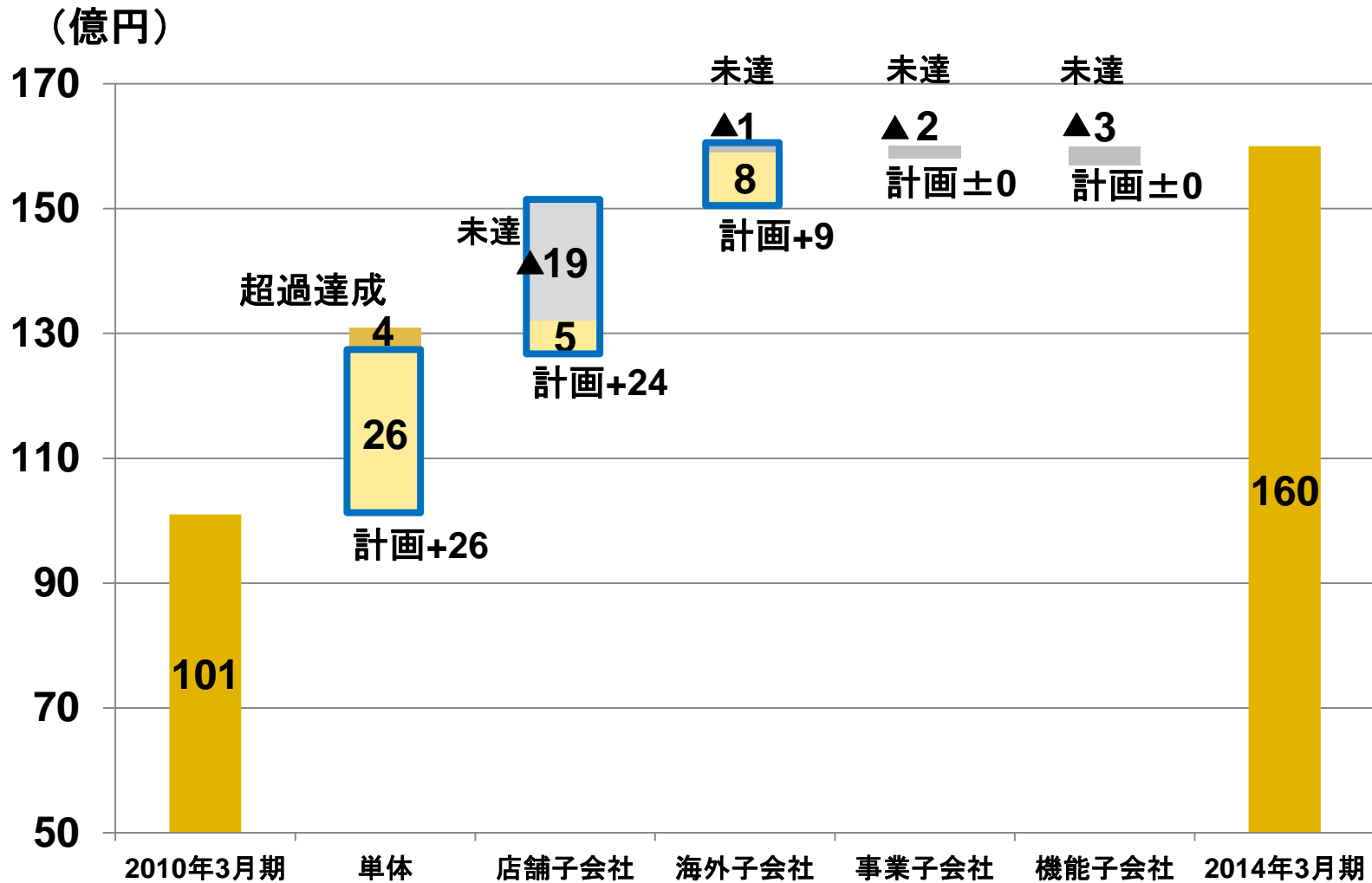
シンガポール3店舗目のロイヤン店
(2011年12月2日オープン)



※ 株価4,000円で算定

一株当たり配当金	100円	125円	135円	145円	150円
DOE	2.4%	3.0%	3.2%	3.3%	3.3%
総還元性向	-	168.0%	159.5%	121.7%	124.5%
配当性向	-	77.2%	75.9%	57.3%	51.5%

営業利益160億円に向けたセグメント別の進捗状況



Ⅲ 2013年3月期 連結業績予想と中計の施策

2013年3月期 業績予想

(億円)

	2012年3月期 実績 (売上比)	2013年3月期(予想)			
		上期 (売上比)	下期 (売上比)	通期 (売上比)	前年比増減 (比率)
連結売上高	2,373	1,163	1,262	2,425	+52 +2.2%
売上総利益	770 32.5%	371 31.9%	411 32.6%	782 32.2%	+12 +1.5%
販管費	633 26.7%	309 26.6%	328 26.0%	637 26.3%	+4 +0.6%
営業利益	137 5.8%	62 5.3%	83 6.6%	145 6.0%	+8 +5.7%
経常利益	153 6.5%	71 6.1%	88 7.0%	159 6.6%	+6 +3.9%
当期純利益	84 3.5%	42 3.6%	53 4.2%	95 3.9%	+11 +13.1%
ROE	5.7%			6.5%	+0.8%
国内既存店売上	+0.1%	+2.2%	+2.9%	+2.6%	+2.4pt
国内全店売上	+0.9%	+3.8%	+4.7%	+4.3%	+3.4pt

億円未満は切捨て表示
対売上比・前年比は百万円単位で計算

業績予想策定の要素

事業環境

- 東北地方を中心に震災の復興需要の継続
- 新車販売の増加
- 原油価格の高騰

当社の収益に影響が想定される事項

- ① タイヤ値上げ、降雪需要の反動
- ② 新車販売の増加に伴うカー用品需要の増加
- ③ 新店の増加による売上増、経費増
- ④ 車販売・買い取りビジネスの収益改善
- ⑤ 店舗子会社の収益改善

具体的な取り組み

・カー用品

タイヤ・オイル・バッテリー販売を主体にした販売施策

新車購入者向けの販促施策の実施(カーナビ、アクセサリなど)

ネット販売の更なる強化

・サービス事業

車検販売の継続的販売(車検コンタクトセンター本格展開)

板金・塗装の取り組み強化

ハイブリッド車取扱い認定店舗の整備

・車販売

査定・買取によるお客様の獲得

小売強化による店舗収益力の向上

2013年3月期 業績予想(セグメント別)

(億円)

		2012年3月期 実績	2013年3月期(予想)			
			上期	下期	通期	前年差
当社(単体)	売上高	1,956.0	977.0	1,048.0	2,025.0	+69.0
	営業利益	135.9	65.0	77.0	142.0	+6.1
国内店舗子会社	売上高	817.1	397.0	437.0	834.0	+16.9
	営業利益	4.3	▲3.0	9.0	6.0	+1.7
海外子会社	売上高	90.9	47.8	44.2	92.0	+1.1
	営業利益	0.8	0.8	0	0.8	±0.0
機能子会社	売上高	33.8	17.0	17.0	34.0	+0.2
	営業利益	4.3	2.0	2.0	4.0	▲0.3
事業子会社	売上高	126.0	69.0	69.0	138.0	+12.0
	営業利益	1.1	1.0	1.0	2.0	+0.9

千万円未満を切捨て表示
前年比は百万円単位で計算

1. 国内事業

① 店舗収益力の強化

- ・ 国内既存店舗の個店力強化
- ・ 店舗子会社の利益改善

② 新規出店の推進

今期の目標40店舗（業績予想のベースでは30店舗）

2. 海外事業

中国の実験を加速、アセアン地区での出店も検討

店舗収益力の向上のために

個店力の強化

売場改装後の店舗の実績

	上位10店舗	下位10店舗
売上高 前年比	+21.6%	▲3.5%
客数 前年比	+15.0%	▲3.6%

- ①店舗オペレーションの改革 ⇒ 店舗運営効率の改善
 - ②店舗従業員教育(特に店長)
 - ③改装不振店の個店別対策(成功店事例の横展開など)
- +
- スーパーオートバックス業態の改装を実施(28店舗)

店舗子会社の収益改善

店舗子会社のオートバックス店舗の営業利益率 2.5%(2012年3月期)

特別対策チームを作り、体質改善のための施策に取り組む

国内出退店計画

	12/3 末	2013年3月期						13/3 末
		上期			下期			
		新店	S/B R/L	退店	新店	S/B R/L	退店	
オートバックス(AB)	430	+12	+1/▲1		+17	+4/▲3	▲1	459
スーパーオートバックス(SA)	76							76
オートハローズ(AH)	1					▲1		0
セコハン市場(SH)	18							18
オートバックス・エクスプレス	5	+1						6
国内計	530	+13	+1/▲1		+17	+4/▲4	▲1	559

海外出退店計画

S/B=スクラップ & ビルド、R/L=リロケーション

	2012/3末	2013年3月期		2013/3末
		上期	下期	
フランス	11			11
中国	4	+1/▲2	+1	4
台湾	5			5
タイ	4			4
シンガポール	3			3
マレーシア	0	+1		1
海外計	27	+2/▲2	+1	28

国内新店 30店舗

純増 29店舗

中国

- ・ 中国、上海において2店舗出店
引き続き店舗モデルの構築に努める
- ・ 中国における車検整備制度に関する共同研究などの実施

ASEAN

- ・ マレーシアを含め出店などを本格的に検討

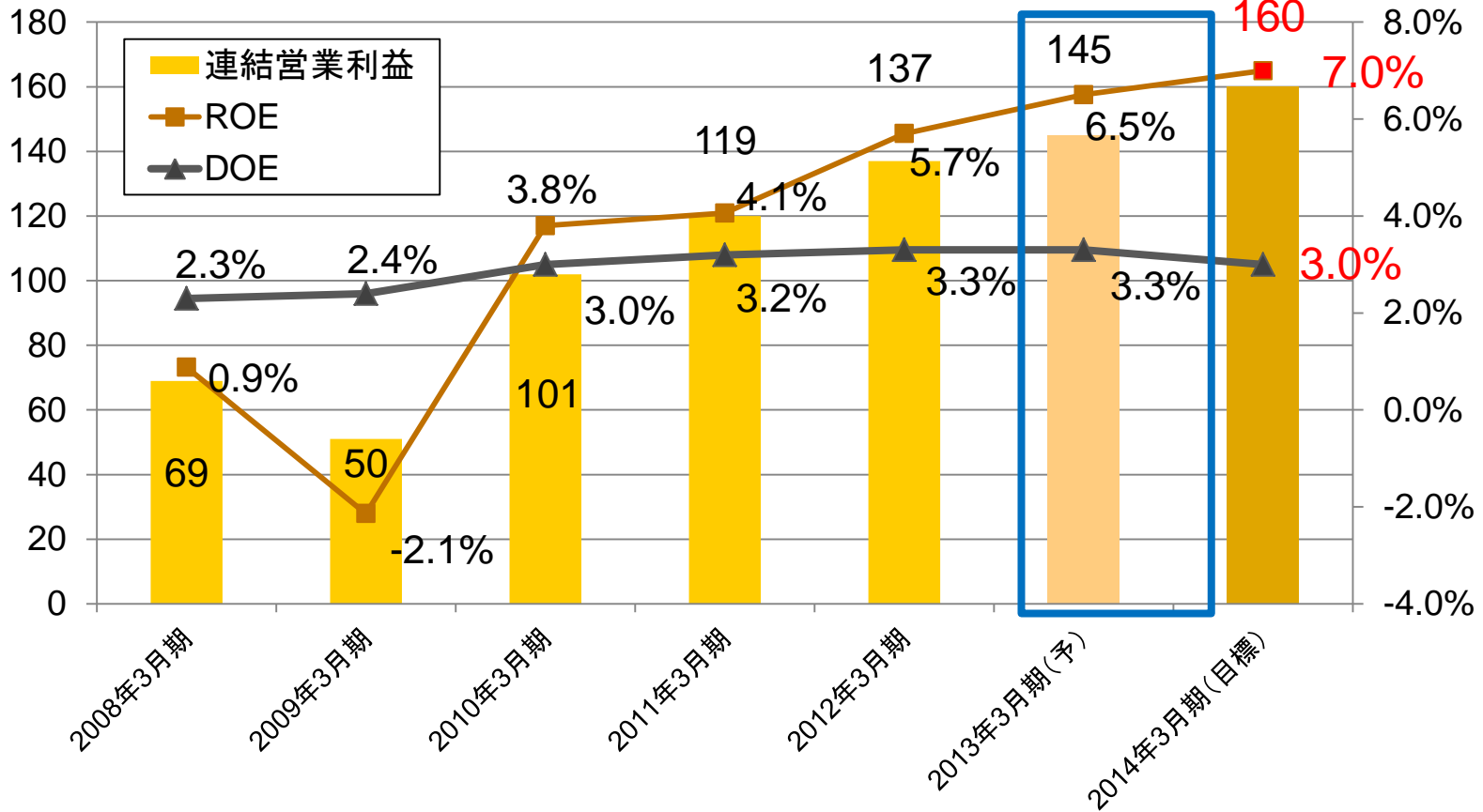
フランス

- ・ 売場改善やピット作業の効率化を図り、引き続き企業価値の向上に努める

中期経営計画の目標を目指して

(億円)

連結営業利益とROE



オートバックスBIGプラン

オートバックス2010中期経営計画

追加資料編

2012年3月期 連結損益計算書 四半期毎

(億円)

	1Q		2Q		3Q		4Q	
	金額	前年比 増減(%)	金額	前年比 増減(%)	金額	前年比 増減(%)	金額	前年比 増減(%)
連結売上高	593	+0.5	554	▲1.1	729	+0.4	497	+2.1
売上総利益 (売上比)	186 (30.4%)	+3.2	183 (33.6%)	+3.1	229 (31.2%)	+2.1	172 (34.7%)	▲1.7
販管費	154	▲3.3	154	▲2.4	161	+1.6	165	+1.3
営業利益	32	+52.3	30	+45.8	68	+3.1	8	▲40.0
営業外収支	7	-	4	-	4	-	1	-
経常利益	39	+75.7	34	+54.6	72	+4.4	9	▲50.5
特別損益	▲0	-	▲0	-	▲1	-	0	-
四半期純利益	22	+306.2	20	+72.4	40	▲3.1	2	▲50.5

四捨五入表示 前年比は百万円単位で計算

セグメント情報

		(億円)				
		2012年3月期	2011年3月期	前年同期比 (%)	直近予想	直近予想比 (%)
当社(単体)	売上高	1,956	1,947	0.5	1,942	0.7
	営業利益	136	117	15.7	126	7.9
国内店舗子会社	売上高	817	812	0.6	812	0.6
	営業利益	4	4	13.9	3	44.7
海外子会社	売上高	91	88	3.3	93	▲2.2
	営業利益	1	▲1	—	1	▲14.0
機能子会社	売上高	34	62	▲45.3	33	2.5
	営業利益	4	5	▲11.7	3	34.4
事業子会社	売上高	126	130	▲3.3	131	▲3.8
	営業利益	1	2	▲51.9	3	▲55.2
単純合算	売上高	3,024	3,039	▲0.5	3,011	0.4
	営業利益	147	127	15.1	136	8.0

〔 比率は百万円単位で計算
億円未満は四捨五入表示 〕

カテゴリー別実績のポイント

当社(単体)

売上高 1,956億円 (対前年: +8.9億)	卸売部門 +11.2億円(+0.6%)	増加: タイヤ・ホイール、什器備品 減少: カーエレクトロニクス、カースポーツなど
	小売部門 ▲2.7億円(▲2.9%)	減少: 中古カー用品、車外用品など
売上総利益 417億円 (対前年: +11.2億)	卸売部門 +13.1億円(+3.6%)	増加: タイヤ・ホイール、カーエレクトロニクス、什器備品
	小売部門 ▲2.6億円(▲8.7%)	減少: 直営の中古用品店退店に伴う
販管費 282億円 (対前年: ▲7.2億)	人件費: 従業員賞与の増加、(株)ブレニングの合併に伴う人員増	
	販売費: 広告宣伝費等の削減、改装支援金の増加	
	その他: 弁護士費用、コンサルティング費用、震災寄付金の減少	

国内店舗子会社

売上高 817億円 (対前年: +5.1億)	新店 9店舗出店 商品別売上: タイヤ・ホイール、サービスの売上が増加
営業利益 4.3億円 (対前年: +0.5億)	粗利率: 36.5%から36.8%に若干改善 販管費: 出店に伴うコストの増加

項目	実施内容
店舗の譲渡	① 広島県福山エリア3店舗をFC法人に譲渡 ② 大阪府河内長野市の1店舗をFC法人に譲渡
店舗子会社の合併	① 北海道エリアの店舗子会社の統合 (株)エーエムシーと(株)オートボックス旭川の合併) ② 東北エリアの店舗子会社の統合 (株)オートボックス宮城と(株)エーディーアールの合併)
店舗の譲り受け	山口県内の6店舗運営するFC法人を子会社化

2013年3月期の店舗子会社は25社体制でスタート

連結調整の減少について

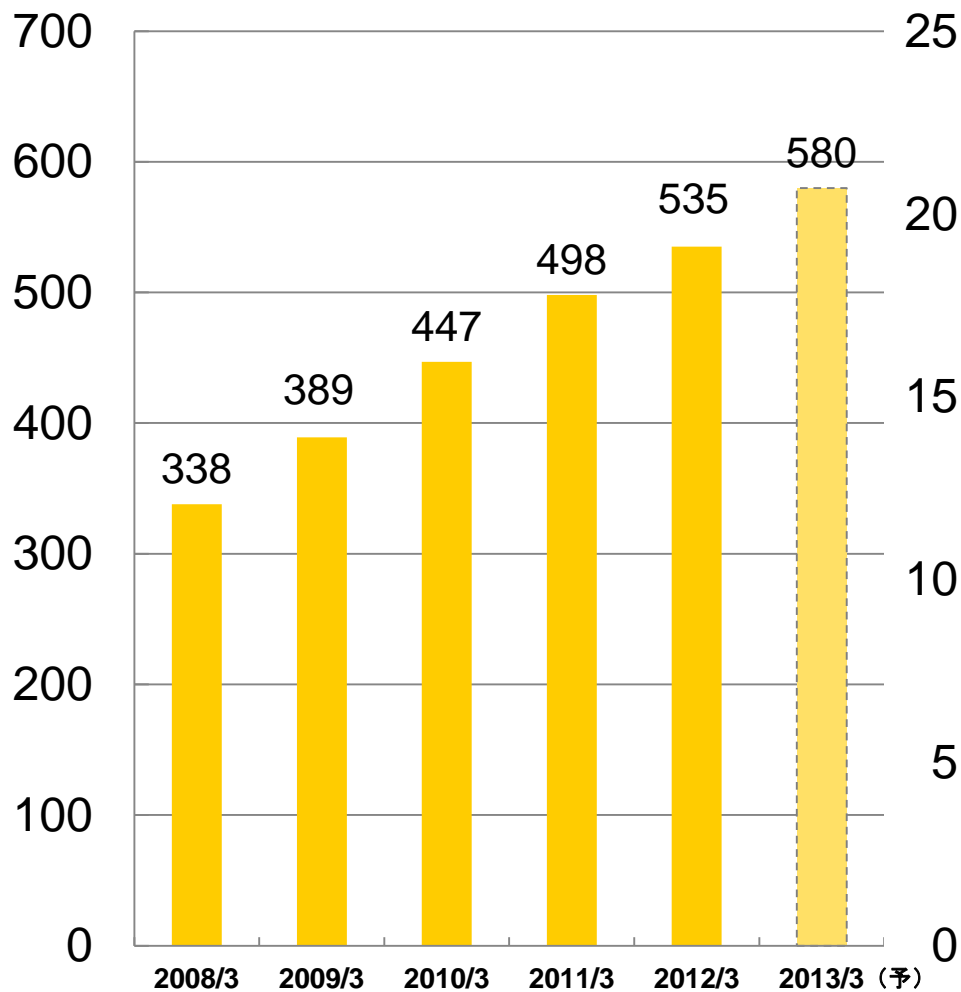
連結調整の状況

(百万円)

	2012年3月期	2011年3月期
単純合算 営業利益	14,654	12,728
棚卸資産の調整額 (子会社在庫の未実現利益など)	▲325	▲66
のれんの償却額	▲76	▲152
ポイント引当金洗替額	▲83	▲24
セグメント間取引消去	▲477	▲343
固定資産の調整額	8	▲60
その他	20	▲91
連結調整(消去)計	▲934	▲740
連結営業利益	13,720	11,988

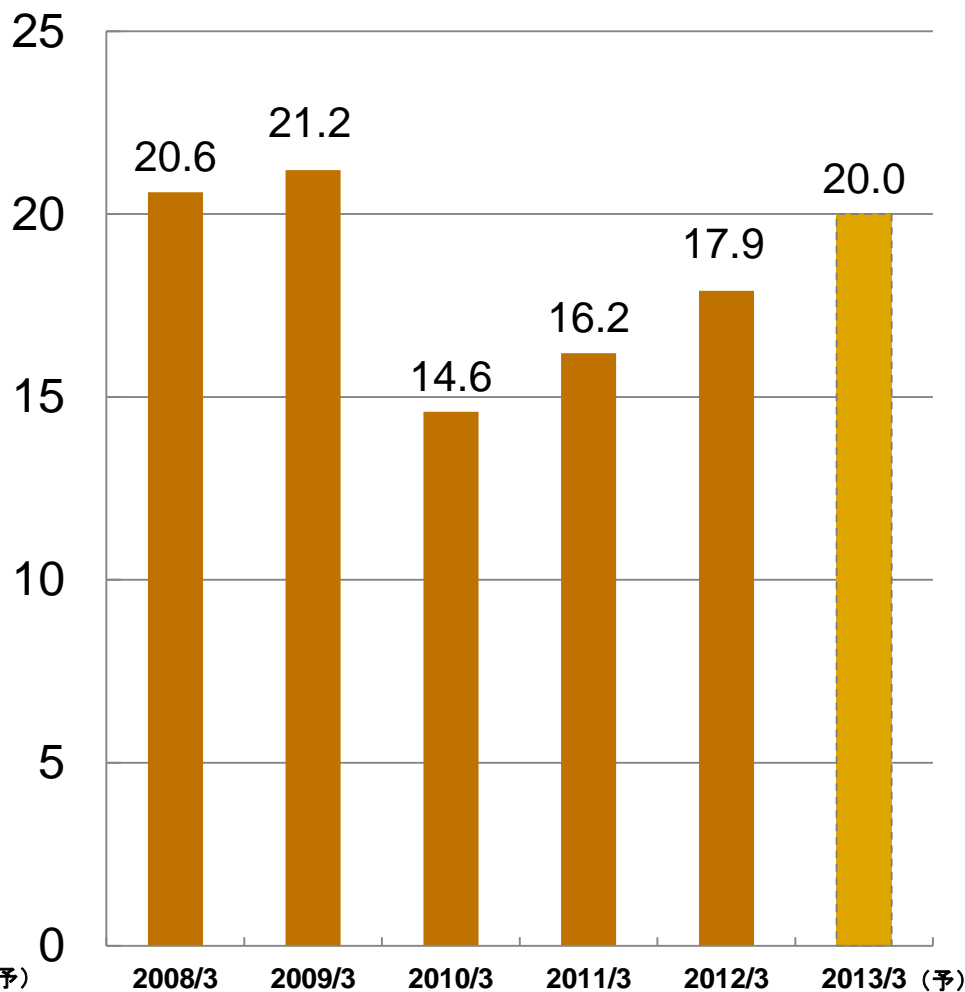
車検実施台数の推移 (全店舗ベース)

(千台)



車販売台数の推移 (全店舗ベース)

(千台)



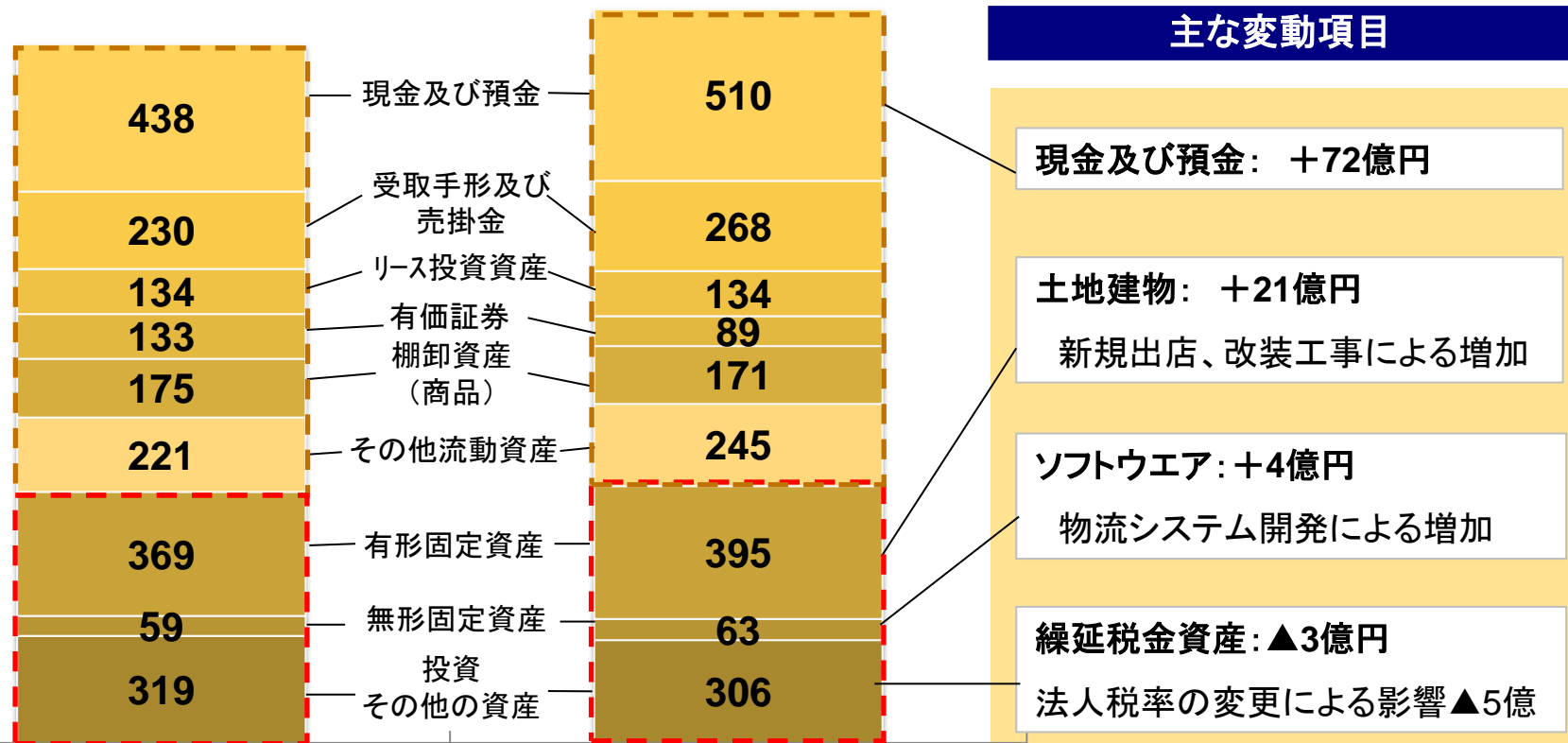
連結貸借対照表 資産の部

資産合計

2,078億円

資産合計

2,179億円



2011年3月期末

2012年3月期末

千万円単位を四捨五入表示

連結貸借対照表 負債・純資産の部

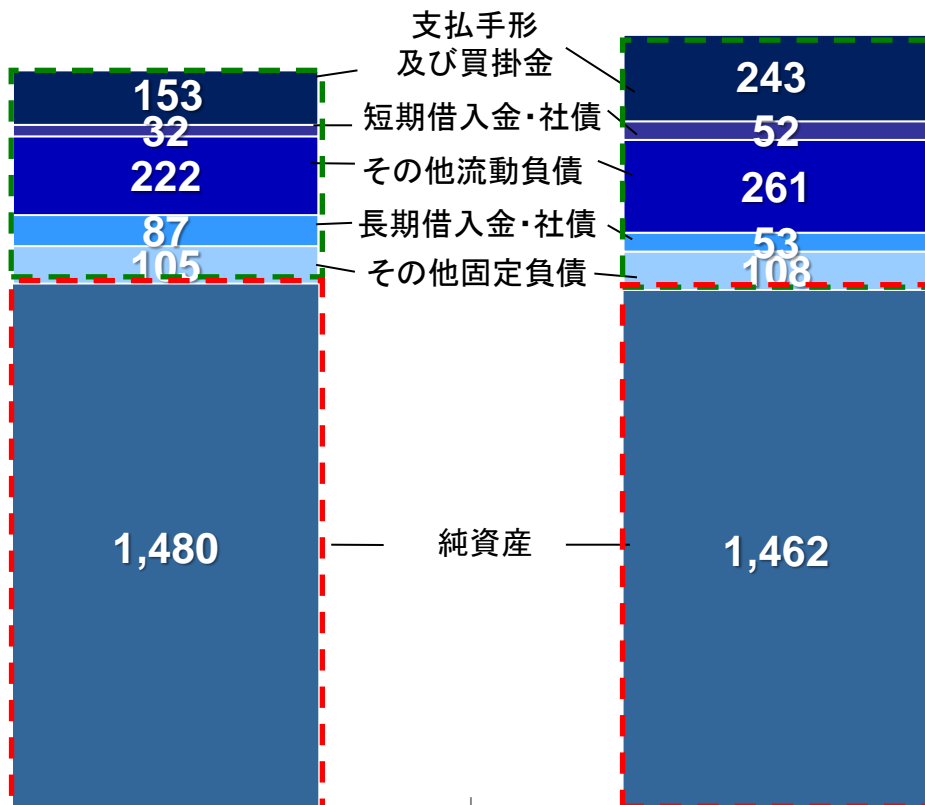
負債・純資産合計

2,078億円

負債・純資産合計

2,179億円

主な変動項目



買掛金: +90億円

長期借入金: ▲33億円

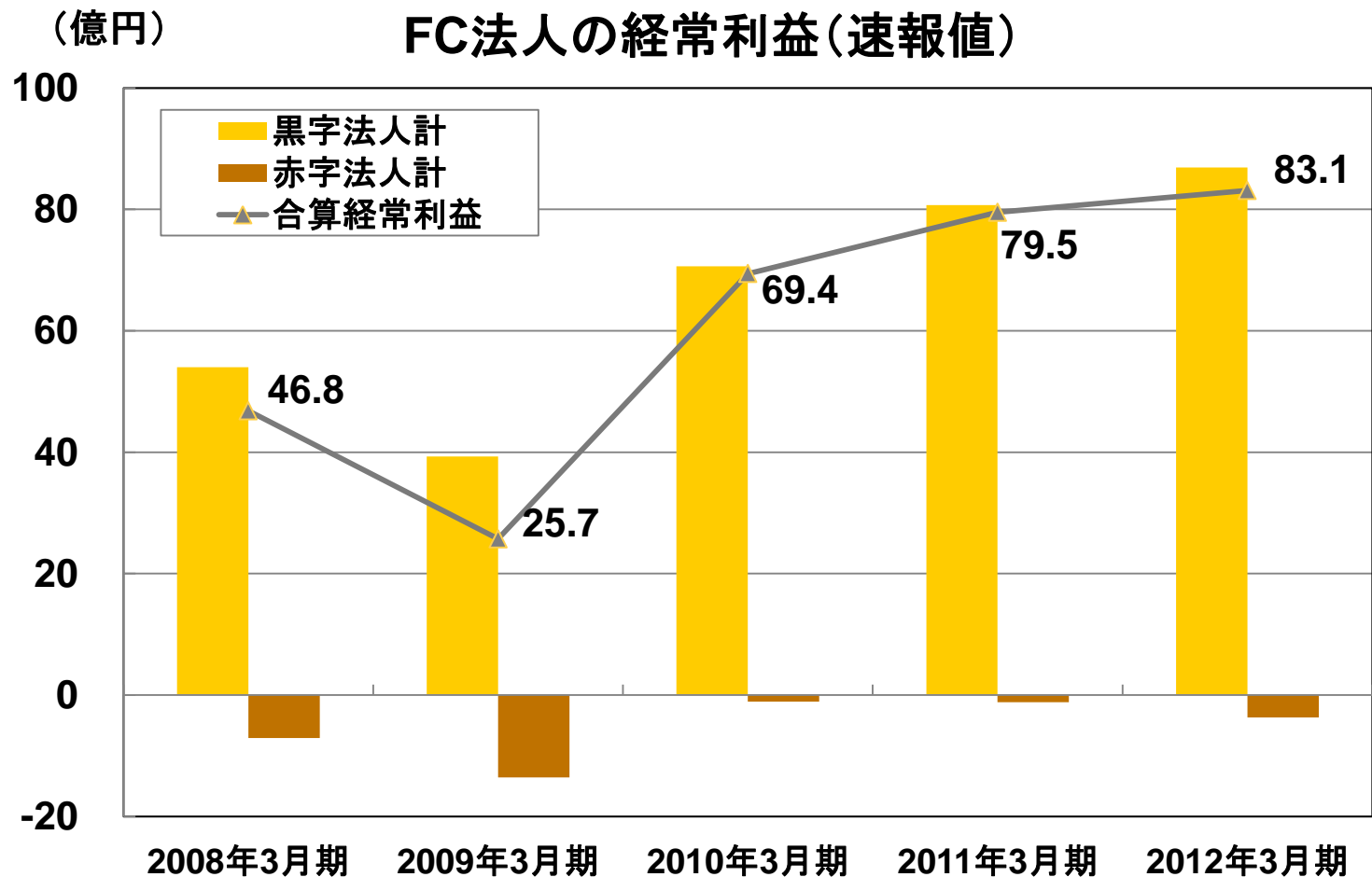
長期リース債務: +5億円
不動産転リース計上によるもの

利益剰余金: ▲69億円
自己株式: +51億円

2011年3月期末

2012年3月期末

千万円単位を四捨五入表示



注) 各FC法人決算は一部確定前の速報値

クルマのことなら  オートバックス

 **AUTOBACS SEVEN**

見通しに関する注意事項

当社の将来についての計画、戦略及び業績に関する予想と見通しの記述が含まれています。これらの情報は現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づき算出しており、今後の事業内容等の変化により実際の業績等が予想と大きく異なる可能性がございます。